

能登教区通信

このたび、標記通信2016年4月号を発行いたしましたので、ご一読のほどお願い申し上げます。

教化事業のご案内

◆教区同朋大会◆ 教化推進委員会

- ・日時 2016年5月29日(日)午後1時20分～4時20分
- ・講師 やっちく二人会(竹原了珠氏、八木千春氏)
- ・テーマ 共に創り、共に生きる
- ・会場 七尾サンライフプラザ
- ・参加費 500円
- ・その他 詳細は前月号同封のチラシをご覧ください。またポスターを掲示のうえ、広くご門徒に周知くださるようお願いいたします。チラシ裏面の申込書を取りまとめいただき、所属組の組長に、参加費を添えて**5月6日(金)**までにお申込ください。参加券は組長事務所にありますので、代金と引き換えにてお受け取りください。(当日入場券の取扱はありませんのでご注意ください)

◆真宗史講座(第2回)◆ 聖典学習小委員会

- ・日時 2016年4月12日(火)午後1時30分～4時30分
- ・講師 木越 祐馨 氏(第5組 光琳寺住職)
- ・講題 『道場について』
- ・対象 どなたでも
- ・参加費 500円
- ・備考 教師陞補第1種認定の講座となります。

◆こころの広場◆ 公開伝道小委員会

- ・日時 2016年4月16日(土) 午後2時～4時
- ・講師 見義 悦子 氏(富山教区第10組正覚寺)
- ・講題 『「行とは生活です」という言葉との出遇いから』
- ・参加費 500円

◆花まつり～小さなお手てを合わせましょ～◆ 青少年小委員会

- ・日時 2016年4月29日(金) 午前10時～正午頃
- ・対象 どなたでも
- ・その他 詳細は、同封のチラシをご覧ください。尚、ポスターを掲示のうえ、広くご門徒や有縁の皆様にご周知くださるようお願いいたします。
又、0～6歳のお子様を対象に「初参り」を行いますので、参加希望の方は、同封の申込用紙にて4月15日(金)までにお知らせください。

◆大無量寿経講義◆ 聖典学習小委員会

- ・日時 2016年5月23日(月)午後1時30分～24日(火)午後2時30分
- ・講師 本多 弘之 氏(親鸞仏教センター所長)
- ・対象 どなたでも
- ・参加費 1,000 円
- ・備考 教師陞補第2種認定の講座となります。

◆北陸連区差別問題研修会について◆

- ・日時 2016年5月25日(水)～26日(木)
- ・講師 樋口 健二氏(写真家)
長田 浩昭氏(京都教区丹波第3組法傳寺住職)
- ・会場 福井別院
- ・定員 約10名
- ・その他 詳細は同封の要項をご参照ください。

◆今後の研修会等について◆

- ・5月21日(土) 午後2時～4時 ころの広場 加藤 彰教 氏(小松教区林西寺)

教化事業のご報告

◆社会問題研修会◆課題別小委員会主催

去る3月3日、長田浩昭氏(京都教区法傳寺住職)を講師に迎え、教区社会問題研修会が開催された。

『原発震災と私たち～問われた真宗門徒の生きざま～』をテーマに講義があり、「原発の再稼動は電力の問題ではなく、軍事・経済の問題であり、震災後いのちと生活が切り捨てられていく福島の実態とそれを強いる国のあり方から、「真宗」が問われ、今こそこれまでの教学を越えていく必要がある。5年前の震災時や原発全停止の2年間からも分かるように電気は十分足りている。原発を推進する国のねらいは、日本の核兵器製造技術の維持であり、再稼動の目的は「世界一安全な原発」と海外に宣伝し、日本製の武器とセットで輸出するためである。そこには経済成長の為なら、命が奪われても痛みを感じない日本の姿がある。この現実の中で、私たちはどんな宗祖像・真宗観をもち、何を説いてきたのか。これまで説いてきたのは、本当に親鸞聖人が頭かにされた念仏の教えだったのか。

仏光寺派の絵伝、六角堂参籠の場面に、久世菩薩の前で猿回しや遊女、異形異類の人々をじっと見つめる親鸞聖人の姿が描かれている。ここに90年の生涯を貫いた生きざまを感じる。聖人は六角堂や関東で出会った人々の、傷つけられた深い嘆き、踏みにじられた深い悲しみの所に「諸仏咨嗟」を確かめていかれた。

清沢先生によって教団は、一人一人の自覚という信を明らかにすることができた。しかし、この信の中身がどうだったのか。震災の現実から、私たちの宗祖像や真宗観が厳しく問われている。

震災を通して、聞こえてきた声と姿から、親鸞聖人はこの事をどう表現しているのか、聖人の生涯の中でどういうふうに関わらせて見ることができるのか。私たち一人一人が、これまでの教学を一步踏み越えていく、自らの表現と自らの歩みをしなければいけない。」と話された。

講義の後、質疑が交わされ、閉会した。



◆帰敬式執行講習会◆教化推進委員会主催

去る3月8日に第8組正願寺を会場に帰敬式執行講習会が開催された。これまでこの講習会は能登教務所を会場に隔年で行ってきたが、各寺院での帰敬式実践の促進のため、教務所から遠方の寺院も参加しやすいようにという願いもあり、組長を対象としたアンケートを行った結果、初めて会場を移して行うこととなった。まず、佐竹通氏(第2組子浦専勝寺)より帰敬式の意義について、これまでの宗派の帰敬式実践運動の歴史も振り返りながら、帰敬式は仏法僧の三宝に帰依する出発点であるということをお話された。



引き続き松村大栄氏(本山本廟部堂衆)より実際の帰敬式執行講習として、「帰敬式執行の手引き」を読みながら、準備物や式の執行の流れを確認したのち、実際に本堂をお借りして模擬帰敬式を行った。当日は第8組寺院を中心に22名の参加があり、参加者は手順について不明なところを積極的に質問していた。この研修会が各寺院での帰敬式執行の促進につながっていくことが望まれている。



◆真宗史講座(第1回)◆聖典学習小委員会主催

去る3月10日に木越祐馨氏(第5組光琳寺住職)を講師にお迎えし、本年度第1回目の真宗史講座が開催された。昨年度よりスタートした当講座は、能登の真宗史について、どのようにして伝わったのかなど、本願寺の真宗史などを交えながら古文書を通して講義が進められている。今年度は「道場について」を講題にお話いただいた。

まず、本願寺の成立についておさえ、北陸における浄土宗系寺院の真宗化について、能登に資料が残る寺院(本誓寺)や、寺院名のみが出てくる今はなき当時の地域の拠点となっていたであろう寺院(富来院極楽寺)を取り上げ、どのような形で真宗寺院となったのか、また、そのことにより真宗が根付いていった経緯等をお話して下さった。次回は道場についての具体的な内容が取り上げられる予定。講義後の質疑も多く、20名の参加者が熱心に耳を傾けていた。(第2回 4月12日)

◆推進員養成講座(第4期真宗講座)に向けた事前スタッフ研修会◆同朋会推進小委員会主催

この研修会は、各寺院の住職・寺族等と共に、聞法や教化活動を担っていただく新たな推進員の誕生を願う「推進員養成講座」のさらなる充実を目的として開催され、20名の参加があった。

第1回目は3月14日、講師に三橋尚伸氏(真宗大谷派僧侶/産業カウンセラー)を迎え行われた。テーマは、『傾聴技術を踏まえた座談研修』として、「一般的な座談会は、知っている人から知らない人へ情報、答えを教える(上下関係)というコンサルテーションで終わることが多い。宗教者としてできることや答えられることはカウンセリングマインド(絶対的な平座)、すなわち参加者の声を聴き寄り添うことである。また、座談会における司会者の役割は、場の支配役ではなく、人と人をつなぎ一つの問題・課題をその場で共有するための促し役である。また来たくなるような座談とはどういうものか?傾聴技術を意識しながら“聴く”ことの訓練を日常の中でしてはどうか?」という厳しくも大切な問いかけをいただいた。



第2回目は3月16日、講師に小林尚樹氏(宗務所研修部推進員室主任)を迎え行われた。内容は、『同朋会運動の願いと実践』をテーマに、同朋会運動の歩みや先人の言葉等を通してその願いを確認していく講義となった。その中で、「推進員養成講座とは、門徒からの推進員の誕生を願うだけではなく、育成員である住職・寺族が共に学び合う場でもある。」と話された。

両日とも、講義とあわせて、班別に分かれた模擬座談等も交えた実践的な研修となった。

教区事務についてのご連絡

◇教務所事務休暇について◇

下記の期間を事務休暇とさせていただきます。ご不便をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。
【緊急連絡先携帯番号 090-5685-5611】

3月31日(木)～4月1日(金) 能登教務所員研修のため

◇書籍のご紹介◇



◆真宗大谷派声明集◆

価格：3,888円【税込・寺院・教会2割引価格】

この声明集は、これまで法蔵館より出されていた『大谷声明集 上』と同内容を収載したものです。今後教師修練や、本山での声明講習の持参品はこちらが基本となっていく予定です。ご入用の際は教務所までお問い合わせください。

◇『能登教壇』編集実行委員の募集について◇

現在、休刊となっております『能登教壇』は、教区教化の内容をお知らせする教化誌としての再刊を目指し、編集体制の見直しを行っております。

つきましては、引き続き編集実行委員を募集いたしておりますので、ご協力いただける方がおられましたら、教務所までご連絡くださいますようお願いいたします。(ご不明な点や詳細については、お気軽に教務所へお問い合わせください。／☎0767-53-0058 担当：西藤^{さいとう})

◇本山経常費完納寺院◇(2016.2.1～2.29迄)

2015年度本山経常費をご完納いただき、有難うございました。
ここにご披露申し上げ、御礼に代えさせていただきます。

第3山方組 極應寺 照明寺
第6組 超願寺
穴水組 誓運寺

◇住職就任◇(教区通信3月号 掲載以降)

第4組 長教寺 大乘 勇二 2016年2月28日

◇敬弔◇(教区通信3月号 掲載以降)

御生前の御苦勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

第10組 専稱寺 住職 安宅山 芳弘 2016年3月13日

能登教区教化テーマ

済美精舎ホームページアドレス

ほとけさまに会いにきたいのち、今ともに生きよう

<http://notokyouku.sakura.ne.jp>

※2015年9月号よりこの教区通信が済美精舎ホームページよりPDFファイルでダウンロードできるようになりました。適宜ご活用ください。